

カンファレンスコール用資料

# 2010年度 第3四半期決算

(2010年4月1日～2010年12月31日)

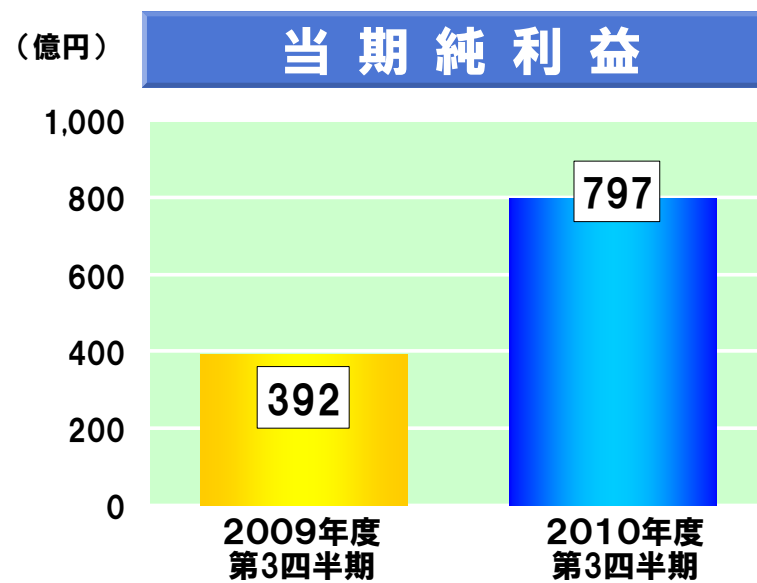
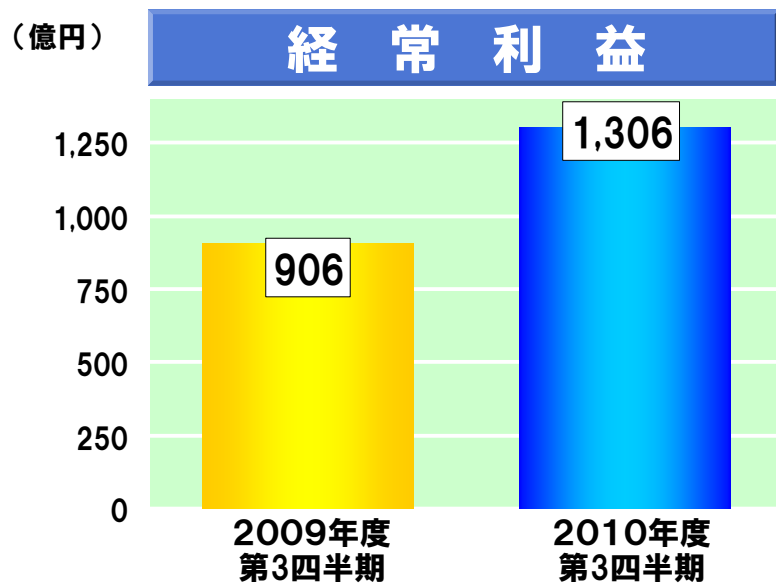
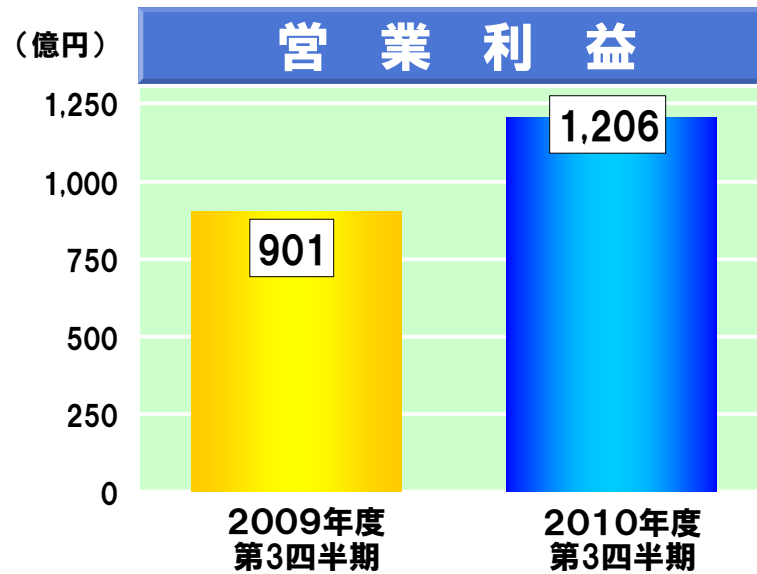
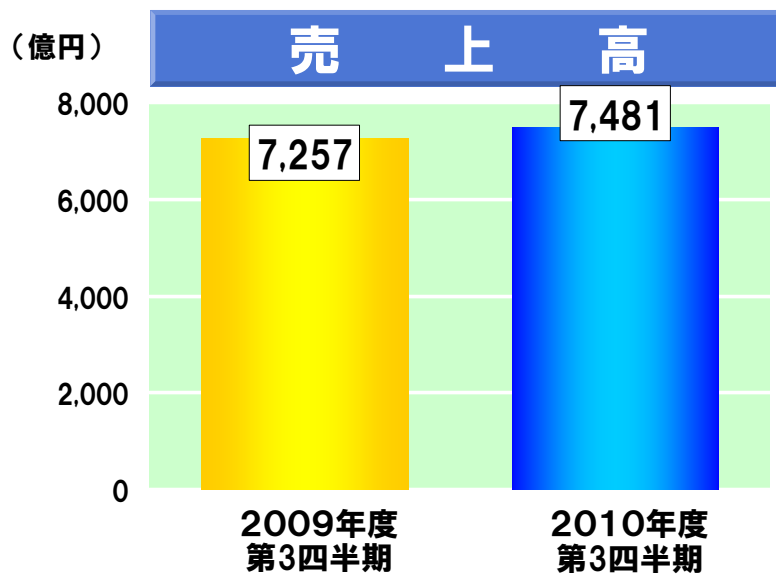
**開催日時** 2011年1月31日(月)  
17:00～18:00  
**説明者** 常務執行役員 坂井 学



第一三共株式会社

# 業績概要

# 2010年度 第3四半期 実績の概要



# 2010年度 第3四半期 実績の概要 -前年同期との比較-

(単位：億円、金額上段は対売上高構成比)

	2009年度 第3四半期 実績 ①	2010年度 第3四半期 実績 ②	増減 ②-①
売上高	100.0% 7,257	100.0% 7,481	224
売上原価	29.3% 2,127	28.5% 2,131	4
販管費	38.8% 2,812	36.4% 2,720	-92
研究開発費	19.5% 1,417	19.0% 1,423	6
販管費計	58.3% 4,229	55.4% 4,144	-86
営業利益	12.4% 901	16.1% 1,206	306
経常利益	12.5% 906	17.5% 1,306	400
当期純利益	5.4% 392	10.6% 797	404

2009年度 第3四半期実績 Ranbaxy社 1-9月 ③	2010年度 第3四半期実績 Ranbaxy社 1-9月 ④	増減 ④-③
100.0% 1,022	100.0% 1,342	320
56.2% 574	43.8% 587	14
38.0% 388	29.6% 397	9
6.7% 68	6.9% 92	24
44.6% 456	36.4% 489	33
-0.8% -8	19.8% 266	274
-2.1% -21	25.9% 347	368
-2.9% -29	19.9% 267	296

## 1. 売上高 7,481億円 (+224億円, +3.1%)

### ■ 増収要因:

- ランバクシー社 バラシクロビルなどの寄与 (+318億円)
- オルメサルタン (+68億円)
- ロキソニン (+45億円)
- デノスマブ欧州承認に伴う一時金

### ■ 減収要因: (為替影響分 約-230億円)

- レボフロキサシン (-135億円)
- プラバスタチン (-93億円)

## 2. 営業利益 1,206億円 (+306億円, +33.9%)

### ■ 増益要因:

- ランバクシー社寄与分 (+274億円)  
売上高の大幅な伸長が増益にも寄与
- 第一三共寄与分 (+21億円)  
売上高が減少するが販管費も減少

### 3. 経常利益 1,306億円 (+400億円, +44.1%)

- 増益要因: 営業増益に加え、ランバクシー社の営業外損益が94億円の改善
  - 営業外収益 (-15億円)
  - 営業外費用 (-109億円)  
ランバクシー社関連 (-99億円) 為替差損の減少

### 4. 当期純利益 797億円 (+404億円, +103.0%)

- 特別利益: (+47億円)  
固定資産売却益、投資有価証券売却益等
- 特別損失: (+48億円)  
投資有価証券評価損、関係会社株式評価損等
- 法人税等: (-101億円)  
前期: 試験研究費税額控除不適用に加え、前々期の税金修正により高税率  
今期: アスピオ事業再編で引き継いだ繰越欠損金に税効果を適用
- 少数株主利益: (+95億円)・・・ランバクシー社に関わる少数株主持分(約36%)

# 2010年度 業績予想の修正

(単位：億円、金額上段は対売上高構成比)

	2010年度 業績予想 (10月公表)	2010年度 修正業績予想 (1月公表)	差異	備考
売上高	100.0% 9,800	100.0% 9,650	-150	一部の海外グループ会社 及び 第一三共ヘルスケアの進捗状況等を勘案
売上原価	29.8% 2,920	29.0% 2,800	-120	
販管費	38.6% 3,780	38.4% 3,710	-70	
研究開発費	21.4% 2,100	20.1% 1,940	-160	
販管費計	60.0% 5,880	58.5% 5,650	-230	主として研究開発費の進捗の遅れ
営業利益	10.2% 1,000	12.4% 1,200	200	
経常利益	10.2% 1,000	13.0% 1,250	250	
当期純利益	5.6% 550	7.3% 700	150	

# 主要事業会社別業績状況

(単位：億円)

	2010年度 売上高		
	第3四半期 累計実績	年度予想	進捗率
国内医療用医薬品	3,251	4,150	78.3%
第一三共ヘルスケア	342	485	70.5%
第一三共Inc.(米国)	1,021	1,450	70.4%
ルイトポルド ファーマシューティカルズInc.(米国)	399	470	84.9%
第一三共ヨーロッパGmbH(欧州)	495	755	65.6%
アジア/中南米(ASCA)	198	280	70.7%
ランバクシー・ラボラトリーズLtd.	1,340	1,650	81.2%

\* 事業会社別の業績予想修正は行っていません。



# 主要製品の状況

(単位：億円)

		2010年度 売上高				
		第3四半期 累計実績	進捗率*1	対前年同期 比較	年度 予想	対前年同期 比較
GLOBAL	オルメサルタン <高血圧症治療剤>	1,868	75.0%	68	2,600	217
	レボフロキサシン <合成抗菌剤>	519	75.7%	-135	700	-172
	プラバスタチン <高コレステロール血症治療剤>	353	81.0%	-93	440	-110
	プラスグレル*2 <抗血小板剤> * 共同販促収入	33	-	-	-	-
日本	カルブロック <高血圧症治療剤>	110	78.7%	2	140	3
	アーティスト <高血圧症治療剤>	183	81.2%	0	225	-8
	クレメジン <慢性腎不全用剤>	107	82.0%	1	130	-3
	ロキソニン <消炎鎮痛解熱剤>	415	81.4%	45	510	40
	オムニパーク <造影剤>	195	85.0%	-23	230	-43
	ユリーフ <排尿障害改善剤>	77	67.1%	7	115	25
米国	ヴェノファー <貧血治療剤>	220	84.6%	-21	270	-52
	ウェルコール <高コレステロール血症治療剤 /2型糖尿病治療剤>	222	81.2%	15	285	10

\*1 グローバル品目及び海外品目の進捗率は現地通貨ベースで示しております。

\*2 プラスグレルの共同販促収入に関する業績予想は開示しておりません。

\*3 製品別の業績予想修正は行っておりません。

# 研究開発パイプラインの状況

# 研究開発パイプラインの変化（10月以降）

## ■ ステージの進捗

### ● 申請中 → 承認

- SUN Y7017（メマンチン）（日）  
アルツハイマー型認知症治療剤 ※販売名：メモリー<sup>®</sup>錠
- CS-8635（3剤配合剤：オルメサルタン、アムロジピン、ヒドロクロロチアジド）（欧）  
高血圧症治療剤 ※販売名：Sevikar HCT<sup>®</sup>

### ● Phase2 → Phase3

- ARQ 197（c-Met阻害剤）（米欧）
- CS-747（プラスグレル/ACS-PCI）（日）

## ■ 新規追加

### ● Phase 2

- AMG 162（デノスマブ/関節リウマチ）（日）

### ● Phase 1

- CS-3150（高血圧症治療剤）
- U3-1565（抗HB-EGF抗体）（米）
- U3-1287（抗HER3抗体）（日）

# 主要開発品目一覧表

	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	承認申請中
循環器	・CS-3150		・プラスグレル (ACS-MM) ・プラスグレル (# ACS-PCI) ・エドキサバン (AF/VTE)	・エドキサバン (日)
糖尿病		・CS-1036		
がん	・U3-1565	・U3-1287 ・Tigatuzumab ・Efatutazone ・ニモツスマブ (#)	・ARQ 197	
感染症	・CS-4771 ・DS-8587		・ラニナミビル	
骨・関節				・デノスマブ (日)
免疫・アレルギー	・CS-0777	・SUN13834		
その他	・DS-5565		・ヒトグレリン ・ペルフルブタン (#)	・シロドシン (中国)

・グローバル (日本以外) で開発している課題に関しては、最も進んだステージのみ記載

・ #: 日本のみの開発

# 第一三共主催 主要イベント予定

内容	日付
ランバクシー社 2010年通期決算	2011年2月22日(火)
2010年度決算	2011年5月12日(木) 決算発表 2011年5月13日(金) 決算説明会



つくっているのは、希望です。



Daiichi-Sankyo

**第一三共株式会社**

本資料に関するお問い合わせ先

**第一三共株式会社**  
**コーポレートコミュニケーション部**

TEL: 03-6225-1126（報道関係者の皆様）

03-6225-1125（株式市場関係者の皆様）

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。